

# 商工振興ビジョン後半期ロードマップに係る最終評価（案）について

資料3  
第41回 振興会議（R6.8.28）

主要な5つの柱	KPIの達成状況	前回会議における意見概要
1 ・ 中 小 企 業 ・ 小 規 模 事 業 者 の 経 営 基 盤 強 化	<p>○市内事業所総売上額</p> <p>①9,597億円（H28）</p> <p>↓</p> <p>②9,597億円(R6)（目標）</p> <p>↓</p> <p>③<b>9,810億円(R6)（実績）</b></p> <p>※R3経済センサ調査結果の数値</p> <p>○創業者数</p> <p>①59件(H28～H30延べ)</p> <p>↓</p> <p>②124件(R2～R5延べ)(目標)</p> <p>↓</p> <p>③<b>117件(R2～R5延べ)(実績)</b></p> <p>※創業支援等事業計画の数値</p>	<p>● 意見無し</p>

最終評価（案）
<p>KPIのうち創業者数は令和5年度において、概ね達成している状況であるが、新型コロナウイルス感染症による影響により、市内事業者の経営安定の取組を最優先する中で、一部を一旦休止扱いとしたが、今後も円安や物価高騰等の影響が続くことから引き続き休止扱いとする。</p> <p>引き続き市内事業者の事業継続と経営安定の取り組みや市内での創業ははじめとしたスタートアップへの支援を継続していくとともに、原油価格・物価高騰などにより厳しい状況にある事業者への支援を優先的に検討・実施する必要がある。</p> <p>特に創業活動への支援については、KPIは年31件の目標値を概ね達成している状況であるが、数にとらわれることなく、創業をされた事業者が良き納税者になるという最終目的が果たされるよう、関係機関と連携したフォローアップ体制を整え支援を実施することが必要である。</p> <p>一方で、助成制度等について、栗東市商工会のメルマガ等を活用し、約800以上の事業所へ助成制度等の情報提供を実施したが、計画と比して実績件数が少ない事業もあり、事業者からは手続き簡略化や情報提供も多く求めているという結果であることから、市公式LINE等のSNS等の媒体を活用した、多くの事業者に活用いただけるよう、わかりやすい申請手順の整備や支援策の伝達方法の工夫、支援機関をはじめとした関係機関との連携が必要である。</p> <p>【事業進捗状況（R5年度末）】12事業/14事業：85.7%</p>

主要な5つの柱	商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱と具体的施策					■商工振興ビジョン後半期ロードマップにおける指標（指標空欄箇所については今後の事業推進において指標数値を設定します。）			指標の達成状況（R6年7月末現在）									■後半期ロードマップの事業計画・実績値					
	具体的施策	区分	主な事業 事業名	実施 年度	進捗 状況	今後の 方向性	指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
								計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	
1 ・ 中 小 企 業 ・ 小 規 模 事 業 者 の 経 営 基 盤 強 化	1 「栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック」	継続	■「栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック」の作成配布	3～6	実施	継続	掲載事業者数	—	—	—	50者	44者	△6	—	—	—	—	—	—	50者			
	2 中小企業・小規模事業者のニーズに適した情報の発信	継続	■支援制度等の情報整理・発信	2～6	実施	継続	登録者数（商工会・小規模事業者等への支援施策周知事業）	—	—	—	130者	617者	487	617者	819者	202	819者	821者	2	821者			
		新規	■メルマガ制度の創設	3～6	実施	継続																	
	3 関係機関との連携によるサポート体制と相談体制による支援	継続	■サポート体制の継続	2～6	実施	継続	相談件数	24件	12件	△12	24件	19件	△5	24件	20件	△4	24件	18件	△6	24件	8件		
		継続	■りっとう経営なんでも相談会の実施	2～6	実施	継続																	
	4 産学官連携に向けた機会の創出	継続	■産学官の連携	4～5	未実施	休止		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		継続	■滋賀県工業技術総合センターの利用促進と有効活用	4～5	未実施	休止		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5 事業継続強化支援計画の推進	新規	■事業継続強化支援計画の推進	2～6	実施	継続	事業継続力強化支援計画策定支援数（商工会実施分）	1件	1件	0件	1件	0件	△1	1件	0件	△1	1件	0件	△1	1件			
	6 経営基盤の強化と資金の支援	継続	■信用保証料助成制度	2～6	実施	継続	栗東市中小企業信用保証料助成件数 滋賀県制度融資分 市小口簡易資金分	25件	5件	△20	20件	17件	△3	9件	13件	4	20件	9件	△11	16件	4件		
継続		■国持続化補助金の市単独上乘せ	2～6	実施	継続	上乘せ件数（一般型）		28件	7件	△21	27件	19件	△8	27件	10件	△17	18件	25件	7	24件	4件		
7 創業活動への支援	継続	■りっとう創業塾の実施	2～6	実施	継続	創業者数 ※創業支援等事業計画目標値（令和5年まで）	31人	27人	△4	31人	33人	2	31人	34人	3	31人	23人	△8	31人				
	継続	■創業支援融資利子補給金制度の継続	2～6	実施	継続		市補給件数（1月申請受付）	22件	31件	9	31件	31件	0	31件	27件	△4	31件	21件	△10	21件			
8 創業支援等事業計画の推進	継続	■栗東市創業支援等事業計画の推進	2～6	実施	継続	創業者数 ※創業支援等事業計画目標値（令和5年まで）	31人	27人	△4	31人	33人	2	31人	34人	3	31人	23人	△8	31人				
9 経営発達支援計画の作成・推進	新規	■経営発達支援計画の作成・推進	3～6	実施	継続	目標達成項目数（商工会実施分）	21件	11件	△10	24件	19件	△5	24件	21件	△3	22件	22件	0	24件				

主要な5つの柱	K P I の達成状況	前回会議における意見概要
2 ・ 消費 者 ニ ー ズ の 創 出	○市民の市内購買率 ①35.7%(R1) ↓ ②35.7%(R6)(目標) ↓ ③ <b>44.7%(R6)(実績)</b>  ※市民アンケート調査結果の数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>KPIの進捗は良好であるが、達成している実感がない。</b>コロナ禍があり難しい時期だったので、やむを得ない部分もある。<b>今後の計画を考える中では、達成を実感できるような目標値の設定ができればと思う。</b></li> <li>● <b>市役所や市職員、市内事業者が市内で物品を購入することをできる限り推奨していく</b>といった空気感、雰囲気づくりが大切で、そういったことを市として考えてほしい。</li> <li>● <b>栗東市は市内購買への意識が薄い気がする。ぜひ良い目標を考えていきたい。</b></li> <li>● 現状の市内購買率は<b>一般市民のみを対象に算出している。アンケート結果の分析については、事業所の規模によって状況は大きく違う</b>ので、そういったことを考慮して分析を行ってほしい。</li> </ul>
3 ・ ま ち の 賑 わ い	○空きテナント数 ◆栗東駅周辺 ①31件(R1) ↓ ②26件(R6)(目標) ↓ ③ <b>22件(R6)(実績)</b> ◆手原・安養寺周辺 ①73件(R1) ↓ ②62件(R6)(目標) ↓ ③ <b>60件(R6)(実績)</b>  ※空きテナント実態調査結果の数値	

最終評価（案）
<p>K P I について、令和6年7月に実施された「市民の消費ニーズに係るアンケート」の調査結果から、<b>最終期において計画値を大きく上回る状況が確認できる</b>一方で、計画された事業については未実施率が実施を上回る状況になっている。</p> <p><b>市外からの誘客も念頭に、原油価格・物価高騰の影響を受けた消費行動や意識の変化を踏まえて、市民や事業者の意見を聞きながら、個店の魅力情報発信などの具体化を図っていく必要がある。</b></p> <p>また、域内調達拡大については、企業、事業者、市民、行政それぞれが協働により取り組むものとしており、栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブックを作成しているが、<b>庁舎内での域内調達率は年々微減傾向にあり、課題を解決するために時間を要することから、長期的な視点で進めていく必要がある。</b></p> <p>【事業進捗状況（R5年度末）】2事業/7事業：28.6%</p>
<p>K P I について、令和6年7月に実施された「空きテナント調査」の調査結果から、最終期において計画値を上回る状況が確認でき、事業の進捗も概ね実施できている。</p> <p>個店の魅力向上については、一過性のもではなく、実際に新規来店客の獲得に繋がるように、商工会と連携したまちの賑わい創出と地域経済の活性化のための工夫をして進めていく必要がある。</p> <p>空き店舗等対策については、市内の空き店舗への新規出店を促進するために、中心市街地のみならず、市内の賑わい創出を目指し、制度の拡充を行っていく必要がある。</p> <p>空き店舗のデータベース化に関しては、市内全体の空き店舗の把握に関しては流動的であり、可能性については検討するものの、一旦は休止事業とする。</p> <p>【事業進捗状況（R3年度末）】3事業/4事業：75%</p>

主要な5つの柱	商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱と具体的施策					指標	指標の達成状況（R6年7月末現在）																
	具体的施策	区分	主な事業 事業名	実施 年度	進捗 状況		今後の 方向性	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度			
								計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	
2 ・ 消費 者 ニ ー ズ の 創 出	10 市の全調達に占める調達比率の引上げ	継続	■ 市の全調達に占める調達比率の引上げ	2~6	実施	継続	庁舎内での域内調達率	76.6%	74.9%	-1.7%	80.1%	76.30%	-3.8%	83.6%	72.80%	-10.8%	87.10%	<u>70.50%</u>	-16.6%	90.60%			
	11 域内調達拡大運動	継続	■ 域内調達拡大運動に関する周知	2~6	実施	継続																	
		新規	■ 地域経済の循環率を高める施策等の検討実施	4~6	未実施	継続																	
		新規	■ 地元事業者活用促進策の検討	4~6	未実施	継続																	
	12 市民が買物をしやすい環境整備の検討	新規	■ 市民が安心して購買・利用できるための情報発信支援事業	4~6	未実施	継続		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13 魅力ある個店づくりへの情報発信支援	新規	■ 個店の魅力情報発信支援	4~6	未実施	継続																		
14 農商工連携による市内製品の販売促進	新規	■ 市内小売業者への働きかけ	4~6	未実施	継続																		
3 ・ ま ち の 賑 わ い	15 個店の魅力向上	継続	■ りっとうバル・まちゼミ事業	2~6	実施	継続	りっとうバル参加事業者数	52店	りっとうバル開催中止	—	52店	りっとうバル開催中止	—	52店	74件	22	74店	78店	4	78店	<u>94店</u>		
		継続	■ 商店街等の活性化	2~6	実施	継続																	
16 空き店舗等対策の拡充	継続	■ 空き店舗等活用促進事業補助金制度	2~6	実施	継続	市補助件数（うち、新規申請分）	9件	8件（5件）	△1	9件	8件（4件）	△1	9件	11件（7件）	2	9件	10件（3件）	1	9件	<u>3件</u> （1件）			
	新規	■ 空き店舗のデータベース化と情報提供	4~6	未実施	休止																		

主要な5つの柱	K P I の達成状況	前回会議における意見概要
4 ・ 人材確保と生産性向上	○就業者数 ①31,844人(H28) ↓ ②31,844人(R6)(目標) ↓ ③ <b>33,735人(R6)(実績)</b>  ※R3経済センサ調査結果の数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状、<b>人手不足が深刻になっている。KPIを達成したからといって喜んでいる場合ではない。</b>しっかりと次の施策を考える必要がある。</li> <li>● 人手不足がより深刻なのは、工業なら20人以下、商業なら5人以下の小規模事業者である。最終結果が全体での数値となっており、<b>数字だけみると栗東市全体としては良い結果に見えてしまうが、必ずしも実態を反映したものではない。</b>ハローワークに求人を出しても、20万円未満なら応募しても人が集まらない。面接さえできない。関心を持ってもらうには、20万円以上の給与が必要であるが、小規模事業者には難しい。そういう中で、黒字廃業が増加している。将来の苦勞を回避している。金融機関で融資を受ける際、代表者の個人保証が求められるケースはまだ多い。</li> <li>● <b>新工場の従業員による増加分については、現状評価の最後に「但し書き」を入れておくとよい。</b></li> </ul>
5 中、 小企業 等の 人口の 経営 安定 化と 感染 症の 経済 影響 に伴	○市内事業所立地数 ①2,838件(H28) ↓ ②2,838件(R6)(目標) ↓ ③ <b>2,820件(R6)(実績)</b>  ※R3経済センサ調査結果の数値	● 意見無し

最終評価（案）
<p>K P Iについて、<b>企業立地による人口流入などの影響</b>から、計画値を大きく上回る状況となっており、事業の進捗状況も半数の事業が実施となっているが、<b>今後人口のピークアウトが早まると予測されていることから、今後の生産年齢人口の状況を注視していく必要がある。</b></p> <p>市内企業の人材確保については、事業者アンケートの結果などから重大な課題と認識されており、ニーズも高いことから、デジタル化への支援による生産性の向上の取り組みと併せて、<b>市内企業の人材確保に繋がる支援策の継続した取り組みが必要である。</b></p> <p>また、事業承継の支援については、全国と比較して市内では若い年代の経営者が多い状況であるものの、切実な課題としてその対処が求められる時期はいずれ訪れることが予測されることから、事業内容については再度検討し、長期的な視点で国の動向や社会情勢、市内事業者の状況を注視していく必要がある。</p> <p>【事業進捗状況（R5年度末）】4事業/8事業：50%</p>
<p>新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰の影響をはじめとする厳しい経営環境下において、市内事業者の事業継続のために、各種事業を実施し、K P Iの実績値においても市内事業所立地数を微減で抑えられたことから、物価高騰や円安等の影響による対策の引き続いた対応が必要である。</p> <p>ただし、エネルギー価格・物価高騰、金融政策など、国や県、市のそれぞれの立場で果たすべき役割という観点から実施事業を仕分ける必要がある。</p> <p>今後は、国や県が実施している事業については、市独自の支援は一旦終了とする。</p> <p>また、地域の実情を踏まえた地域経済の活性化への取り組みに関しては、プレミアム付商品券事業の効果は2点目の柱でも確認されているところであり、市民の消費生活にも寄与する側面も含めて、その効果等を十分検証した上で、国や県施策の動向を踏まえて、今後の実施について、まちの賑わい創出に向けた取り組みと併せて検討していく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症という過去に経験のない影響に対し、緊急時に素早く対策を講じてきたが、この経験を生かして、未曾有の危機が万一発生した場合の対応など、将来に向けて危機発生時の体制づくりをBCPの観点からも構築する必要がある。</p> <p>【事業進捗状況（R5年度末）】4事業/4事業：100%</p>

主要な5つの柱	商工振興ビジョン後半期ロードマップ主要な5つの柱と具体的施策					指標の達成状況（R6年7月末現在）																
	具体的施策	区分	主な事業 事業名	実施 年度	進捗 状況	今後の 方向性	指標	令和2年度			令和3年度			令和4年度			令和5年度			令和6年度		
								計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較	計画	実績	比較
4 ・ 人材確保と生産性向上	17 市内企業の人材確保支援	継続	■ 市内企業の魅力情報発信	2~4	実施	継続	掲載事業者数	50者	47者	△ 3	80者	77者	△ 3	80者	79者	△ 1	40者	51者	11	—	—	—
	18 中小企業・小規模事業者の生産性向上	継続	■ 中小企業者等の先端設備投資への支援の継続	2~6	実施	継続	市認定件数	130件	18件	△ 112	20件	18件	△ 2	20件	14件	△ 6	20件	13件	△ 7	20件	6件	
		新規	■ キャッシュレス決済端末導入への支援	4~5	未実施	継続																
	19 関係機関との連携によるサポート体制と相談体制の構築	新規	■ サポート体制の構築	2~6	実施	継続	事業承継相談件数 ※りっとう経営なんでも相談会における事業承継に関する件数	4件	1件	△ 3	4件	2件	△ 2	4件	0件	△ 4	4件	1件	△ 3	4件	2件	
		新規	■ 事業承継相談会の開催	2~6	実施	継続																
	20 事業承継への新たな支援制度の検討	新規	■ 事業承継融資信用保証料助成制度	4~6	未実施	継続		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新規		■ 事業承継融資利子補給制度	4~6	未実施	休止																	
新規		■ 国事業承継補助金の市単独上乘せ	4~6	未実施	休止																	
5 中、 小企業 等の 人口の 経営 安定 化と 感染 症の 経済 影響 に伴	21 中小企業・小規模事業者の経営の継続と安定化への支援	新規	■ 栗東市セーフティネット資金利子補給金制度	2~4	実施	終了	市補給件数（1月、2月申請受付）	195件	180件	△ 15	180件	168件	△ 12	168件	154	△ 14	154件	139	△ 15	—	—	—
		新規	■ 国持続化補助金（コロナ特別対応型）の市単独上乘せ	2~4	実施	終了	上乘せ件数 （R03コロナ特別対応型） （R04低感染リスク型ビジネス枠）	13件	0件	△ 13	30件	41件	11	9件	7件	△ 2	—	—	—	—	—	—
		新規	■ 国・県等補助施策への市独自上乘せ	3~6	実施	終了	栗東市事業継続応援支援金件数 （県支援金＜第3期＞上乘せ）	—	—	—	600件	385件	△ 215	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	22 地域経済の再活性化に向けたさらなる支援	新規	■ 市内消費喚起促進への支援	2~4	実施	継続	商品券取扱店舗数 （令和2年度は、りっとう元氣アップ応援券取扱店舗数）	500店	499店	△ 1	300店	316店	16	300店	304店	4	300店	317店	17	300店	316店	